**会社名**～会社名を書いてください～
**成田食品加工株式会社**
**タイトル**　～内容に合ったタイトルを書きます。最後に書きましょう～
**有給休暇取得率年間100%達成でボーナス、「みんなのために仕事を休む」を合言葉に働く環境を改善していく。**

**目標**　～SDGs目標をひとつ選びます。最後に選びましょう～

参考：https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/
**8．働きがいも経済成長も**
**背景**　～簡単な業務内容と取り組みに至る背景を書きましょう～
（見出し）
**忙しくて休めない、とりづらい有給、を止める**（本文）
**当社は、食品を加工、加工した商品をスーパーなどに卸しています。**

**機械化できないところは人の手が必要で、予定人員より少ない場合は作業負荷が大きくなることもあり、もともと有給をとりづらい職場環境になっています。**

**離職率は高く、ベテランが辞めると作業負荷が増えるのが当たり前という悪循環が長く続いていました。**

**小手先の工夫だけでは限界もあり、歯止めをかけるべく、SDGsの目標に合わせ「働きがいも経済成長も」を旗印に、有給休暇取得率100%を目標とした環境改善に取り組むことにしました。**
**準備**　～取り組みの準備に関する内容を簡潔に書きましょう～
（見出し）
**有休をとらなきゃいけない雰囲気を定着させる**（本文）
**まず次期社長である専務にリーダーになってもらい、着手2年後以降毎年、「有給休暇取得率100%達成で従業員全員に特別ボーナスを出す」宣言をしてもらいました。**

**「有休をとらないと他人に迷惑がかかる」というマインドを形成、有休がとりやすくなるためにはどうすればいいかを社員全員が考える機運をつくりました。**

**同時に各部署から選出した人でプロジェクトチームをつくり、部内で吸い上げた改善点を協議し、専務が経営会議とのパイプ役となり早い決裁が出るようにしました。**

**実践内容**　～取り組みの実践内容を簡潔に書きましょう～
（見出し）
**有給取得率年間100%未達の翌年度は責任者による月１回の状況報告を必須に**（本文）
**着手2年目までは、月2回のプロジェクト会議で起案された内容を月1回の経営会議で決める。その翌日に専務が決議事項とこれまで決議された事案の進捗を社員の前で発表します。**

**2年目以降、有給取得率年間100%未達の場合、その翌年度も状況報告を続けなければならないことにしました。達成年の翌年度が未達の場合、また状況報告が再開され、専務にとって苦行の年となります。**

**一過性ではない取り組みとなるよう責任を明確にしました。**

**専務が社長になった場合、次期専務が引き継ぐことになっています。**

**結果や効果**　～実践結果・効果を書きましょう～
（見出し）
**まだ2カ月目、これからです**（本文）
**具体策はまだまだこれからですが、すでに機運が高まっています。**

**このプロジェクトの停滞を防ぐため、進捗状況を社外に知ってもらってもいいのではと、毎月「ちばSDGsレポート」で状況を公開していくことも次の経営会議で決議事項に入れてもらうことになっています。**
**メッセージ**　～県内事業者に向けてアピールしてください～
**働きやすい職場環境を目指していきます！**

**進捗状況は公開していく予定ですので注目してください！**

**基本情報**
・投稿日：**2022年12月12日**

・会員ステータス：**一般会員**

・会社名（所在市町村）：**成田食品加工株式会社（成田市）**
・ホームページアドレス：**https://narita-s.co.jp**・担当者名（部署）：**佐藤（専務取締役）**
**非公開部分**
・担当者メールアドレス：**sato@narita-s.co.jp**